

むかわ町と北海道鷓川高等学校との連携事業

「地域×高校×大学連携事業」：当事業は、本学が鷓川高校、むかわ町と「高・大・地」の3つの組織で協定を結ぶ先進的な取り組みです。鷓川高校で行われる課題探求型学習「むかわ学」に学生がファシリテーターとして参加し、高校生との交流や対話を通し、提言発表会へのサポートを行うものです。（内閣府「関係人口創出・拡大のための中間支援モデル構築事業」に採択されています。）

本事業を通し、学生のファシリテーション能力や地域の現状理解度の向上、並びに課題解決能力や地域発展のためのアイデア提案力などの修得・向上を目指しています。

●むかわ学Ⅲクレープ班「クレープ販売実習」を実施しました

日時：令和4年10月23日(日)

場所：むかわ町チャレンジショップ

参加者：本学学生5名、鷓川高校3年生2名

内容：開発中クレープの販売、ミーティング



かぼちゃとあずきの mumuCrepe

～むかわ町のクレープ～

営業時間
2022.10.23-11.00-14.00

営業場所
むかわ町チャレンジショップ

むかわ町産のあずき

小坂農園さんのかぼちゃ
ブラックのジョニー

限定20個販売
売完次第おわり

¥600円

米粉入り生地

生地はむかわ町の米粉を使用！
生地はもちもち食感になっており、かぼちゃとあずきの風味もさながらにcup！今のシーズンだからこそ美味しいかぼちゃとあずきのハロウィン仕様クレープいかがですか？

むかわ学の集大成となる12月の提言発表会に向け、さらに探求を深め、研究内容のブラッシュアップを図ることを目的とした課外探求学習として、「クレープ販売実習」を実施しました。

9月に札幌市内で実施した「市場調査・クレープ製作研修」で得たヒントや技術を活かし、むかわ町観光協会が運営するチャレンジショップの一角で、開発中のクレープ「mumuCrepe（むむクレープ）」限定20個を販売しました。開店から1時間半で完売、購入した方からは「イベントに出店してもいいクオリティ」、「手書きのメッセージにほっこり」など嬉しい声が寄せられました。

販売当日まで、メンバーはSNSでのメッセージのやり取りや遠隔ツールを活用したミーティングで交流を図り、大学生は広報や販売価格設定に関する面でサポート。当日も、道の駅での宣伝やレジ業務、購入者へのアンケート調査などの業務に従事し、販売終了後は全員で提言発表会に向け、新たな気づきや課題、提言発表会での方向性を確認する振り返りミーティングを行いました。

次回は11月に対面での交流会が予定されており、これまでの活動をまとめる作業に取り掛かります。



経済学専攻3年
黒宮 稜介さん

高校生の必死に頑張る姿がとても印象的でした。当日はぶつつけ本番などがあったので、もう少し事前に確認をしていたら落ち着いて対応できていたと思います。今後は提言発表会に向けてしっかり意見交換できたらと思っています。

経済学専攻1年
蛸名 舜さん

今回初めて参加させてもらい、相前から準備を重ねてきたことがわかりました。クレープにむかわ産のものを使用するなど、本気でむかわを盛り上げたいという気持ちが伝わってきました。高校生の彼女たちから教えられることも多く、非常に充実した時間となりました。

経営学専攻1年
山館 奈央子さん

高校生の行動力にすごく刺激を受けました。販売の一日だけでしたが、地域課題と向き合う高校生と一緒に活動できてよかったです。今回の体験を通して、住む町をよりよくしていくために活動している方々と関わる機会を多く持ちたいと思いました。

地域創生専攻4年
大野 真央さん

クレープの中身がかなりブラッシュアップされて、見た目よし、味よしで完成度がアップしていました。少し事前準備が不足しており、告知が限定されていたことや看板がなかったこと、接客や駐車場の案内などでドタバタしていたので改善できれば良いかと思っています。

経済学専攻4年
道端 康介さん

製作から販売、宣伝まで、一連の流れを経験していろいろなことがわかりました。試作の段階で難しいとわかって、諦めずに完成させたのは高校生の努力の賜物だと思います。ここまで形にしたプロジェクトが今後どうなるのか、今回の経験からの変化も楽しみです。

